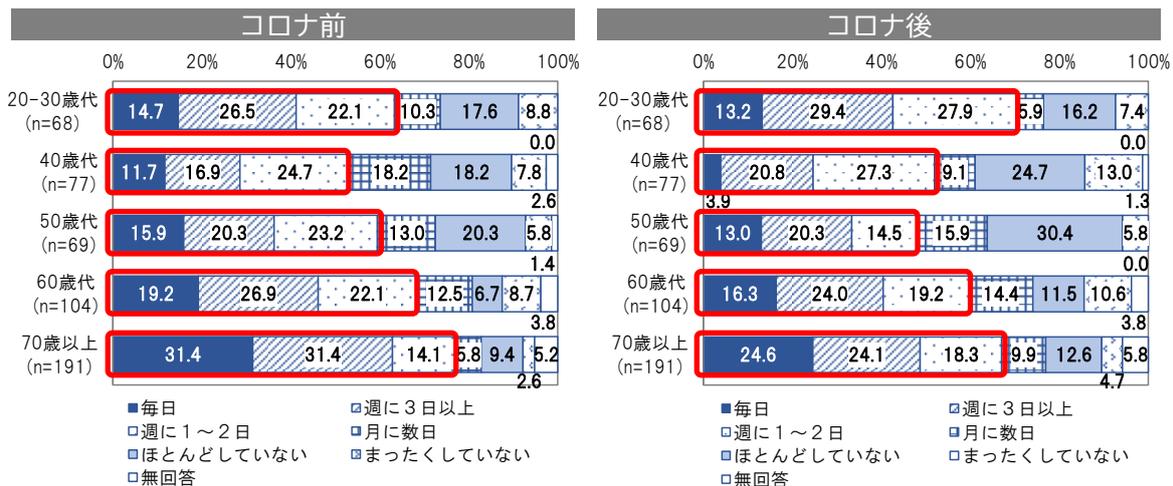


宇治市スポーツ推進計画改定のためのアンケート調査結果からみられる課題整理

(1) 運動・スポーツの実施状況について (4~15 ページ)

- 定期的な運動を実施している人の割合は、コロナ後の現在で約6割と、平成26年調査（健康づくりに関するアンケート：半数未満）と比較すると増加している。
- 『運動・スポーツで体を動かすことが好き』な人が7割以上を占める。特に、男性では9割近くを占めているのに対し、週1日以上~~の定期的な運動・スポーツを実施している人はコロナ前でも7割程度~~となっており、運動・スポーツをしたくてもできない人が一定数いる状況がみられる。
- 性別では女性、年代では40~50歳代で、運動習慣がない人・運動嫌いな人がやや多い。働き盛りの年齢層が多いことから、仕事や家事・育児と運動・スポーツとの両立が困難となっていることが推測される。
- 国の令和2年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」と比較すると、国では、コロナウイルス感染症に伴い運動実施率が上昇しているのに対し、宇治市では減少している。特に、50歳以上でその特徴が顕著となっている。また、週3日以上~~の運動実施率はすべての年代において国を上回る実施率となっているのに対し、週1日以上~~の運動実施率は50歳以上で国の実施率を大きく下回る。国と比較すると、運動・スポーツ実施状況の二極化が進んでいると考えられる。

【年代別運動実施率】



【年代別運動実施率】 ※令和2年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」（スポーツ庁）との比較

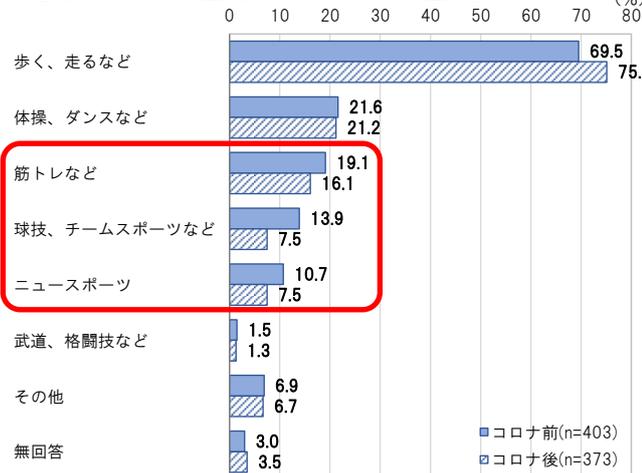
	週1日以上 の運動実施率				週3日以上 の運動実施率			
	宇治市		国		宇治市		国	
	コロナ後	コロナ前	令和2年度	令和元年度	コロナ後	コロナ前	令和2年度	令和元年度
20歳代	70.5	63.3	58.3	45.7	42.6	41.2	25.2	18.9
30歳代			55.1	45.6			23.5	17.5
40歳代	52.0	53.3	52.8	45.3	24.7	28.6	23.8	20.6
50歳代	47.8	59.4	54.2	48.7	33.3	36.2	27.5	23.8
60歳代	59.5	68.2	65.1	62.1	40.3	46.1	36.9	34.2
70歳以上 ^{※1}	67.0	76.9	74.8	73.4	48.7	62.8	48.5	46.2
全体 ^{※2}	60.7	66.9	59.9	53.6	40.3	47.3	30.9	27.0

※1：国は70代の回答を掲載、※2：国は成人以上の回答を掲載

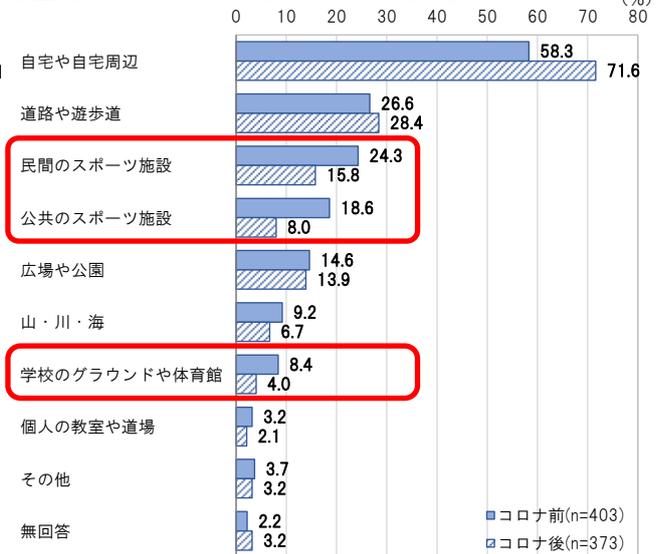
- 運動・スポーツにふれる機会の少ない働き盛りの年齢層が、仕事や家事・育児と両立しながら運動・スポーツの実施ができるような方策が求められる。
- コロナ禍においても継続して運動・スポーツができるよう、身近な場や気軽に実施できる運動・スポーツの方法などについての、情報発信が求められる。

○新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、毎日運動している人の割合が減少し、民間・公共の施設や学校施設などの「運動・スポーツ施設」を利用した運動が減少していることから、フィットネスクラブ等での運動や団体スポーツの運動・スポーツの実施が減少していることが考えられる。一方で、健康・体力づくりやストレス解消のために運動をしたいと考えている人は多く、自宅やその周辺、広場や公園等の野外で、少人数でできる運動・スポーツが求められる。

【行っている運動・スポーツの種類】



【運動・スポーツを行っている場所】



○運動習慣のない人や運動嫌いな人が運動・スポーツするためのきっかけとして、「身近に運動できる場」に次いで「家族や友人からの誘い」の回答が高い。また、国と比べて運動の少ない50歳以上や運動嫌いの層では「健康づくりやスポーツの情報が提供されれば」との回答も高い。

【運動・スポーツをしたいと思うきっかけ・チャンス】

		回答者数(人)	身近に運動できる場	家族や友人からの誘い	健康づくりやスポーツの情報が提供されれば	豊富なメニューのスポーツ教室	地域のスポーツイベント	スポーツクラブや運動サークル等からの勧誘	その他	無回答
性別	男性	49	32.7	22.4	16.3	2.0	2.0	4.1	22.4	32.7
	女性	88	43.2	26.1	20.5	18.2	5.7	4.5	22.7	15.9
年代	20-30歳代	20	50.0	30.0	15.0	15.0	10.0	5.0	5.0	30.0
	40歳代	30	43.3	20.0	10.0	16.7	-	3.3	30.0	23.3
	50歳代	29	34.5	34.5	24.1	20.7	6.9	6.9	20.7	24.1
	60歳代	26	50.0	23.1	38.5	11.5	3.8	3.8	15.4	-
	70歳以上	33	24.2	18.2	9.1	-	3.0	3.0	33.3	33.3
好き嫌い	運動好き	82	42.7	20.7	17.1	13.4	4.9	3.7	19.5	26.8
	運動嫌い	60	36.7	30.0	20.0	11.7	3.3	5.0	26.7	16.7

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

※性別・年代ともに不明があるため、それぞれの回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

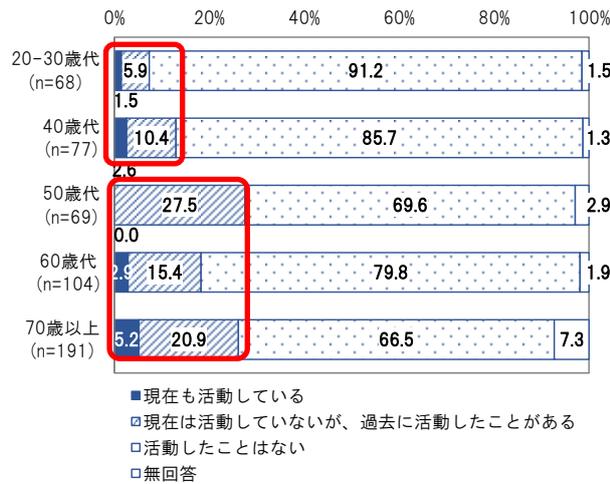
○身近な場で簡単に実施できることとあわせ、「健康づくり」としての運動・スポーツに関する情報とともに、ともに活動できる仲間づくりが運動・スポーツをはじめのきっかけとなると考えられる。コロナ禍においてもともに活動できるような、情報交換・共有の場が求められる。

(2) スポーツに関するボランティア活動について (16~20 ページ)

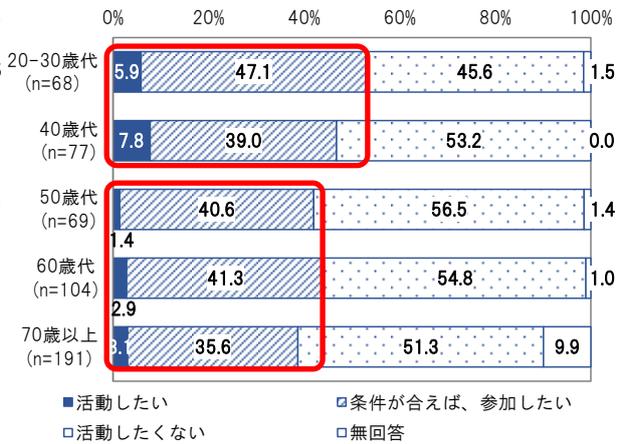
○スポーツに関するボランティア活動への参加は2割程度となっているのに対し、今後の参加意向は4割以上と高い。特に、これまで参加が少なかった 20~40 歳代 で参加意向が高くなっており、ボランティア活動者になり得る潜在的な人材が多くみられる。

○潜在的な人材を活動者に育成していくため、「日常生活の中で無理なく活動できる」ことが最も重要であり、最も多くの潜在的な活動者が見込める 20~40 歳代では「一緒に参加する仲間がいること」や「活動を通じて新しい知識や技能が身につくこと」、「活動に参加すると多少の謝礼や特典が得られる」などの回答も多くなっている。

【ボランティア活動への参加状況】



【ボランティア活動の今後の参加意向】



【ボランティア活動への参加を増やしていくために必要なこと】

		回答者数 (人)	日常生活の中で無理なく活動できること	個人でも気軽に参加できること	特別な知識や技能がなくても活動できること	ボランティア活動に関する情報の提供があること	一緒に参加する仲間がいること	活動を通じて新しい知識や技能が身につくこと	活動に参加すると、多少の謝礼や特典が得られること	その他	無回答
性別	男性	214	72.4	61.2	43.0	36.9	29.4	15.4	10.7	3.3	6.5
	女性	293	70.6	51.9	45.7	33.8	33.4	17.1	18.4	2.4	8.5
年代	20-30歳代	68	75.0	52.9	38.2	38.2	35.3	22.1	33.8	2.9	2.9
	40歳代	77	72.7	55.8	42.9	44.2	40.5	20.8	22.1	2.6	5.2
	50歳代	69	71.0	58.0	47.8	43.5	31.9	15.9	29.0	-	-
	60歳代	104	74.0	60.6	49.0	34.6	20.2	10.6	8.7	4.8	1.9
	70歳以上	191	68.6	53.9	44.5	27.2	33.5	15.7	4.2	2.6	16.2

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

※性別・年代ともに不明があるため、それぞれの回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

○ボランティアの参加率は低いが、潜在的な意向者を含めると参加が見込める人数は多い。参加を促すため、日常生活の中で無理なく気軽に活動できることが最も重要であるが、参加することで得られる仲間や知識・技能、または多少の謝礼・特典など、“参加することによるメリット”を効果的にPRすることが必要である。

(3) 運動・スポーツに関する情報について (21~30 ページ)

- 情報入手手段として、性別では、男性は広告物、女性は口コミ、年代では、若年層はホームページやSNS、高齢層には新聞・テレビなどの広告物や広報などが多い傾向がみられる。
- 運動習慣のない人・運動嫌いな人には、身近な場所で手軽にできる運動・スポーツの情報や運動実施のきっかけにつながるスポーツ教室の情報、運動習慣のある人・運動好きな人にはスポーツのクラブ・サークルや市内で参加できる大会・イベント等の情報が求められている。
- 地域にゆかりのあるプロスポーツチーム（京都サンガFC、京都ハンナリーズ、京都フローラ）については、今後の観戦希望はほぼ同程度であるものの、現状の認知度に偏りがみられることから、地域住民へのスポーツ教室の開催やイベントなど、住民との交流を促進していく必要がある。

【運動・スポーツに関する情報の入手先】

		回答者数 (人)	行政の刊行物 (市政だより、広報紙等)	テレビやラジオ	知人・友人・家族	ホームページ、SNS	新聞や新聞広告	本や雑誌	電車・バス等の交通機関に貼られている広告	その他	無回答
性別	男性	214	35.0	50.0	31.3	35.0	39.7	13.1	7.0	2.8	2.8
	女性	293	48.1	34.1	41.6	34.1	29.7	8.5	6.1	2.0	4.1
年代	20~30歳代	68	29.4	36.8	35.3	70.6	11.8	10.3	11.8	-	1.5
	40歳代	77	40.3	24.7	40.3	62.3	18.2	7.8	9.1	3.9	3.9
	50歳代	69	42.0	50.7	30.4	47.8	33.3	10.1	11.6	5.8	-
	60歳代	104	47.1	45.2	38.5	25.0	40.4	12.5	5.8	1.0	1.0
	70歳以上	191	46.1	43.5	38.2	11.0	44.5	10.5	2.1	2.1	6.8

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

※性別・年代ともに不明があるため、それぞれの回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

【運動・スポーツに関してあれば良いと思う情報】

		回答者数 (人)	自宅や室内でできる手軽な運動の情報	身近なウォーキングコースの情報	市内のスポーツ施設に関する情報	市内のスポーツ教室に関する情報	スポーツのクラブ・サークルの情報	市内で参加できる大会・イベントの情報	運動・スポーツの紹介や練習法に関する情報	スポーツ医学についての情報	スポーツボランティアに関する情報	その他	無回答
好き嫌い	運動好き	384	45.8	44.0	38.0	26.6	23.4	22.4	19.5	10.2	7.3	1.8	3.9
	運動嫌い	129	62.8	45.0	24.0	19.4	7.8	7.8	10.9	7.8	-	2.3	8.5
頻度	運動している	316	50.6	46.8	35.4	25.3	21.2	19.6	20.3	10.4	6.6	1.6	5.4
	運動していない	188	50.0	42.0	33.5	25.0	16.5	18.1	14.4	8.5	4.3	2.7	3.2

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

※年代・運動スポーツの好き嫌い・運動頻度ともに不明があるため、それぞれの回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

○運動・スポーツの情報提供が求められるが、性・年代のターゲット別による効果的な広報戦略が必要である。(例：運動・スポーツの実施頻度が少ない人に向けてはホームページやSNSで身近なウォーキングコースの情報を実施者の声とともに紹介し、運動・スポーツを実施するきっかけができた人には気軽に参加できる大会・イベント、サークルなどを紹介して継続を促す)

(4) 宇治市の施策等について (31~44 ページ)

- 今後の施策について、スポーツ施設の整備・設備の充実とともに、その情報発信が必要である。
また、運動習慣のない人・運動嫌いな人には、健康・体力の増進や介護予防の側面からのアプローチも効果があると考えられる。
- 「ワールドマスターゲームズ 2021 関西」の開催、宇治市がフライングディスク（アルティメット）の開催地となっていることの認知度は低いことから、今後の施策展開（市独自のスポーツを育てていくこと）を考えると情報提供の充実を図っていく必要がある。
- 運動習慣のある人・運動好きな人には市内で参加できる大会・イベントの情報を求める人が多い一方で、市主催・共催の運動・スポーツ事業は宇治川マラソン大会以外の事業の認知度が低い。

【運動・スポーツの活動を活発にしていくために行政が取り組みを進めること】

		(%)												
		回答者数(人)	スポーツ施設の整備・設備の充実	市民が気軽に参加できる大会・イベントの開催	情報の提供	スポーツやスポーツ施設に関する	スポーツ教室の開催	健康・体力の相談体制の充実	地域のスポーツ活動団体への支援	開催(誘致)	大きなスポーツイベント・大会との交流機会の充実	プロスポーツチームやアスリートとの交流機会の充実	スポーツ指導者の育成	その他
年代	20-30歳代	68	75.0	39.7	29.4	19.1	13.2	17.6	23.5	25.0	10.3	5.9		
	40歳代	77	64.9	37.7	29.9	27.3	22.1	22.1	24.7	33.8	14.3	6.5		
	50歳代	69	53.6	40.6	20.3	26.1	29.0	18.8	23.2	24.6	15.9	4.3		
	60歳代	104	63.5	36.5	25.0	23.1	30.8	13.5	13.5	16.3	11.5	6.7		
	70歳以上	191	49.2	32.5	24.1	24.1	23.6	23.0	11.5	5.8	14.1	3.7		
好き嫌い	運動好き	384	61.2	37.2	26.6	25.3	21.1	20.6	19.5	19.8	14.1	4.2		
	運動嫌い	129	50.4	32.6	19.4	20.9	32.6	15.5	10.1	10.1	10.9	7.0		
頻度	運動している	316	62.7	38.3	25.3	23.7	26.6	20.9	19.3	16.1	13.6	4.1		
	運動していない	188	51.6	34.6	25.5	26.1	21.3	17.6	13.8	19.7	14.4	6.9		

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。
※年代・運動スポーツの好き嫌い・運動頻度ともに不明があるため、それぞれの回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

- 運動・スポーツに関する団体や大会・イベント等について情報が求められている反面、実際の認知度が低いことから、情報を必要としている人に情報が届くように発信方法の工夫を検討していく必要がある。
- 運動・スポーツの実施が少ない人・嫌いな人への参加促進のアプローチ方法として、50~60歳代での健康・体力の相談体制への要望が高いことから、“健康・体力の増進や介護予防”の側面からのアプローチに効果が見込まれる。

(5) 団体アンケート調査について (45~47 ページ)

- 団体の運営・活動に対して、活動者や指導者などの人員の確保に苦慮している団体が多く、特にコロナ禍で活動自粛が続く中での退会者の増加などが課題となっている。
- 運動・スポーツに関する情報では、市内のスポーツ施設やスポーツのクラブ・サークルの情報などが求められており、団体同士の連携等への要望が高いと考えられる。

- コロナ禍における活動や人員確保に苦慮する団体が多いことから、大会・イベントを実施した際の感染症対策や活動継続のための工夫等について、情報共有・交換の場が求められる。